

2013年3月15日
株式会社マーシュ
〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-4-15 真井ビル7F
TEL: 03-5433-0321 FAX: 03-5433-0481

自主調査 <ミニリサーチ第35回>

自分も配偶者もお酒を飲む人のうち、
87.2%が夫婦で一緒に飲むことが「ある」と回答。
一緒に飲むのは「楽しい」「コミュニケーション」「リラックスできる」時間。

夫婦での飲酒習慣に関するアンケート

<調査概要>

調査実施: 2013年2月25日(月)~2月26日(火)

調査方法: インターネット調査

対象者: 全国の20代~40代既婚男女で、お酒を飲む人

サンプル数: 490s

サンプル構成:

【性別】 男性: 50.8%、女性: 49.2%

【年齢】 25-29歳: 18.4%、30-34歳: 20.4%、35-39歳: 20.4%、40-44歳: 20.4%、45-49歳: 20.4%

調査方法: インターネット調査

調査機関: 株式会社マーシュ

弊社運営のアンケートモニターサイト「D STYLE WEB」の登録会員を対象に実施

インターネットリサーチ・モニタリクルー卜

marsh

株式会社マーシュ

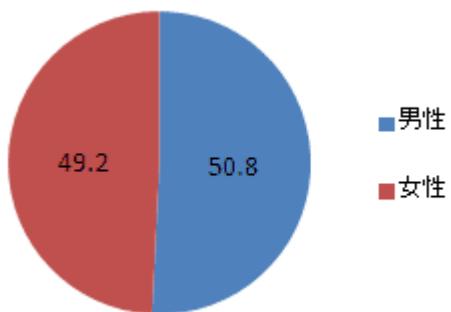
調査項目

- ・属性(性別、年齢、居住地、未既婚と子ども有無、夫婦の就労状況)
- ・配偶者の飲酒状況(单一回答)
 - ・[配偶者もお酒を飲む人]夫婦で一緒にお酒を飲む頻度(单一回答)
 - ・[一緒に飲むことがある人]<夫婦で一緒にお酒を飲む機会や時間>についての意識(複数選択)
 - ・[一緒に飲むことがある人]<夫婦で一緒にお酒を飲む機会や時間>に対する今後の意向(单一回答)
 - ・[一緒に飲むことがある人]その理由(自由回答)
 - ・[一緒に飲むことがない人]<夫婦で一緒にお酒を飲む時間>への関心度(单一回答)
 - ・[一緒に飲むことがない人]その理由(自由回答)

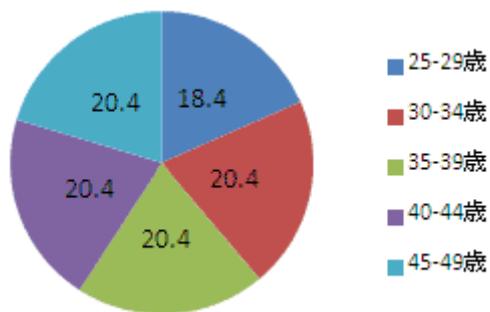
調査結果URL http://www.marsh-research.co.jp/mini_research/mr201302_2couple.html

対象者属性

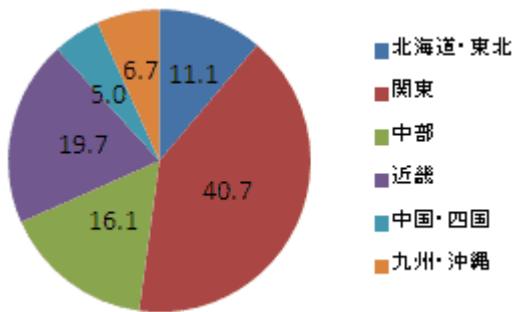
性別 N=490



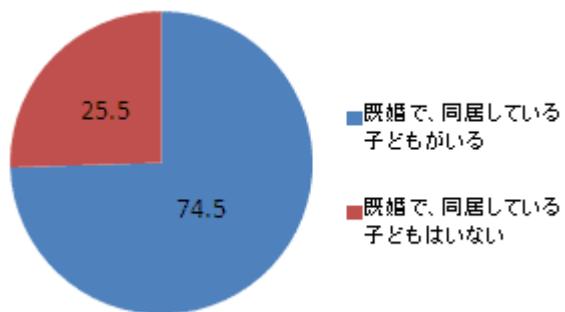
年齢 N=490



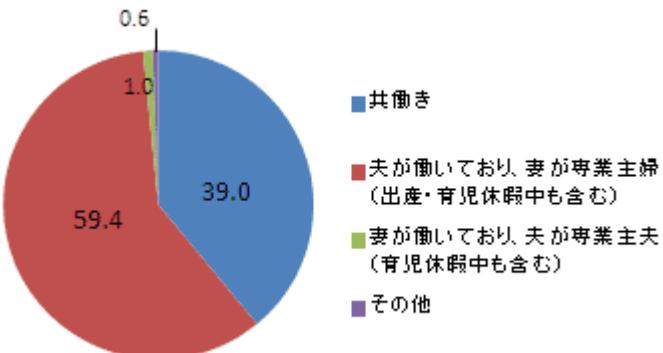
居住地 N=490



未既婚と子ども有無 N=490



夫婦の就労状況 N=490



調査結果

Q1. ご夫婦のうち、お酒を飲む方はどなたですか。あてはまるものをお選びください。(1つ選択)

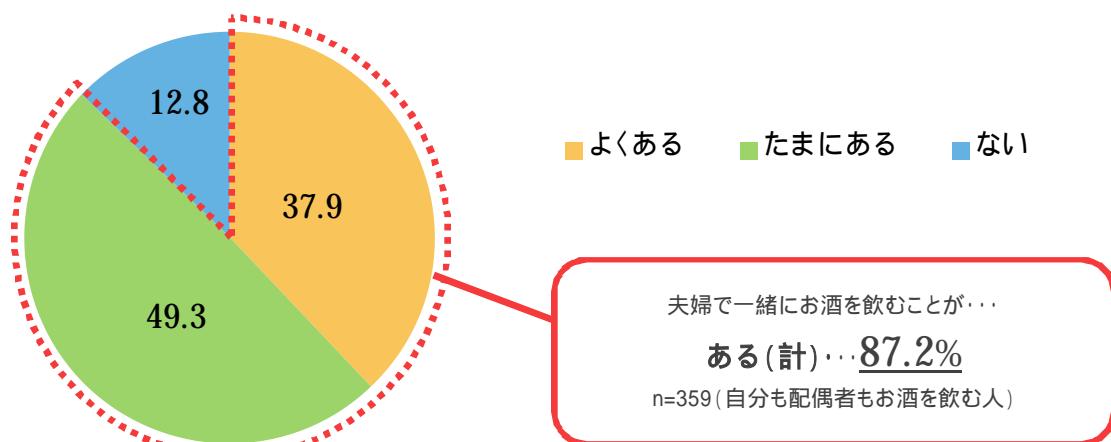


配偶者の飲酒状況 N=490

今回の対象者はすべてお酒を飲む人だが、まず、配偶者もお酒を飲むかどうかを答えてもらった。
「二人ともお酒を飲む」と答えた人は73.3%で、「お酒を飲むのは自分だけ」と答えた人は26.7%となった。

配偶者もお酒を飲む人

Q2. ご自宅および外出先で、ご夫婦で一緒にお酒を飲むことはありますか。(1つ選択)

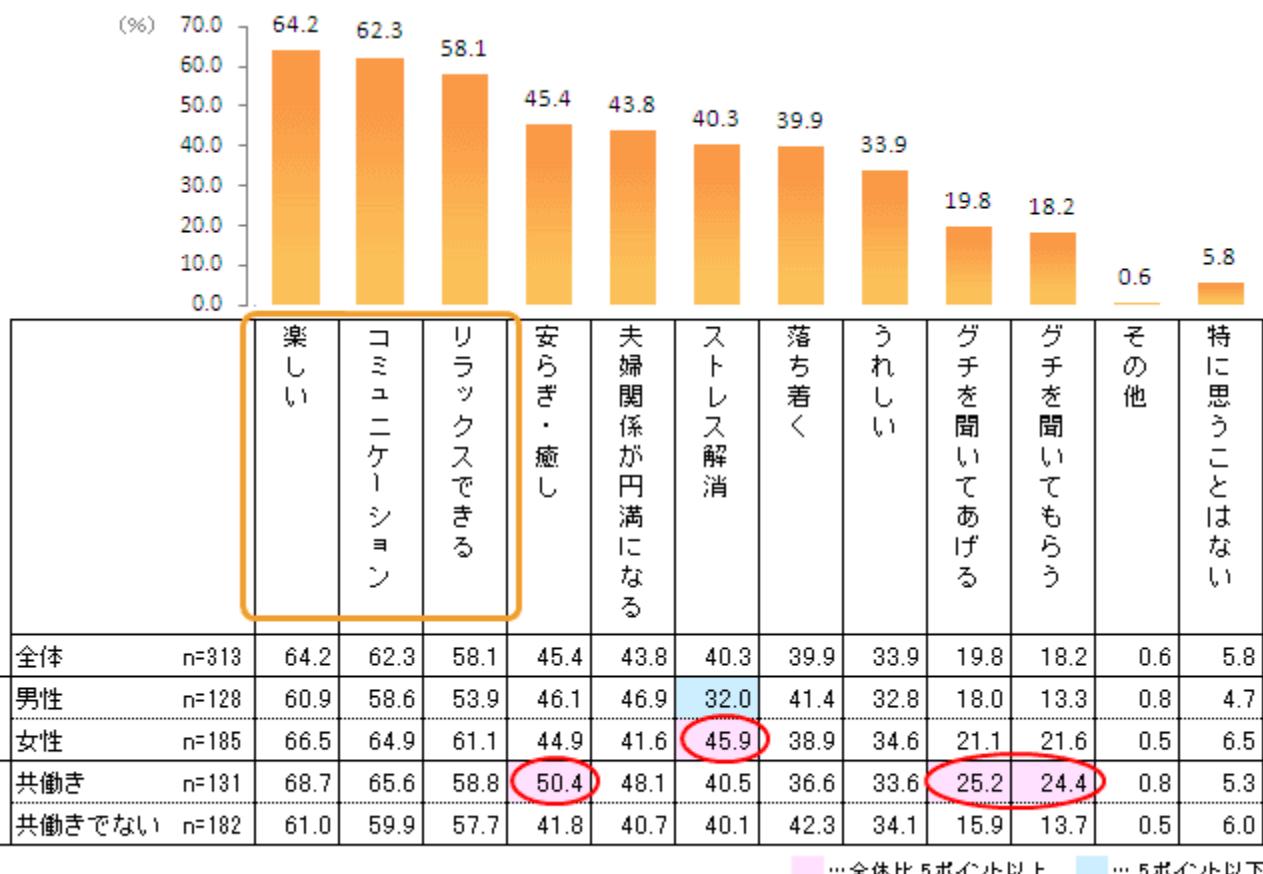


夫婦で一緒にお酒を飲む頻度 n=359

配偶者もお酒を飲むという人に対し、自宅や外出先で、夫婦で一緒にお酒を飲むことがどれくらいあるかたずねた。
「たまにある」と答えた人が49.3%で最も多く、「よくある」と答えた人(37.9%)と合わせると87.2%となり、
夫婦共にお酒を飲む家庭のうちおよそ9割は、夫婦で一緒にお酒を飲む時間を持っていることがわかった。

夫婦で一緒にお酒を飲むことがある人

Q3. あなたにとって夫婦で一緒にお酒を飲む時間は、どのような時間ですか。あてはまるものをお選びください。
(複数選択可)



<夫婦で一緒にお酒を飲む時間>についての意識 n=313

夫婦で一緒にお酒を飲むことがある人に、それが自分にとってどのような時間であるかを答えてもらった。

まず全体で最も多かったのは、「楽しい」(64.2%)。

続いて、「コミュニケーション」(62.3%)、「リラックスできる」(58.1%)、「安らぎ・癒し」(45.4%)となった。

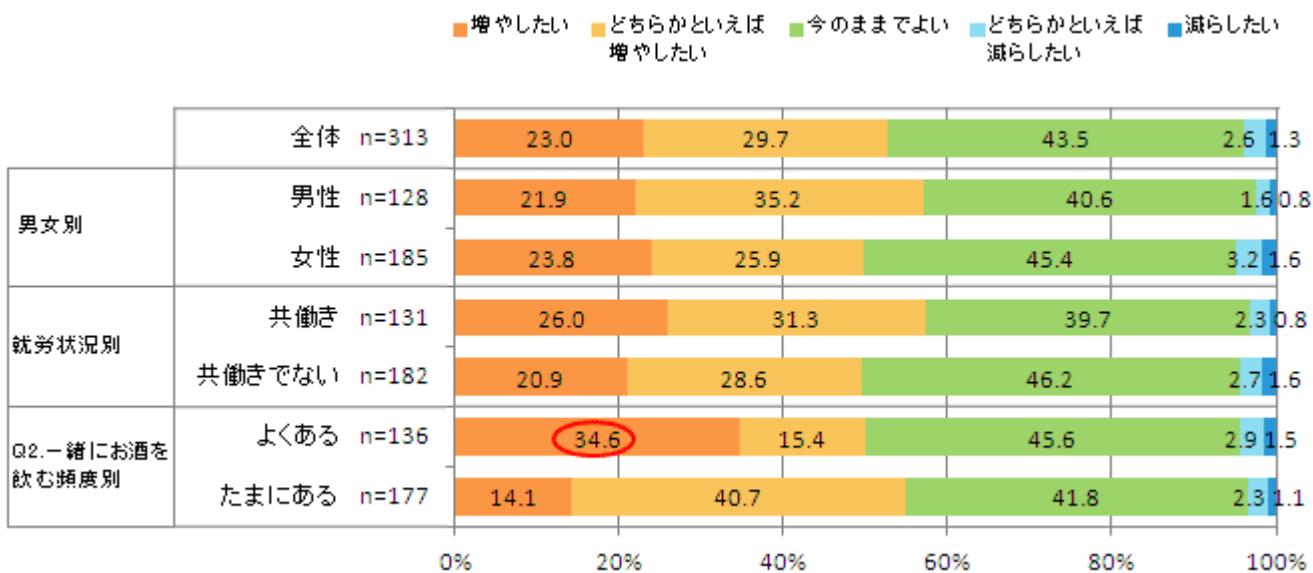
男女で目立った差が見られたのは「ストレス解消」で、男性が32.0%であるのに対し、女性は45.9%となっている。

また、就労状況別で比較すると、共働きの世帯では「安らぎ・癒し」「グチを聞いてあげる」「グチを聞いてもらう」の3つが、共働きでない世帯に比べてそれぞれ5ポイント以上、上回った。

夫婦で一緒にお酒を飲むことがある人

Q4. 「夫婦で一緒にお酒を飲む機会や時間」について、あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。(1つ選択)

Q5. そのようにお答えになった理由をお聞かせください。(自由回答)



<夫婦で一緒にお酒を飲む機会や時間>に対する今後の意向と、その理由 n=313

続いて、夫婦で一緒にお酒を飲む機会や時間を、今よりも増やしたいと思うかどうかを聞いてみた。

すると、「増やしたい」と答えた人は52.7%で、5割強となった(増やしたい・どちらかといえば増やしたい、の合計)。

「今までよい」という人は43.5%で、「減らしたい」と答えた人は3.9%とごく少数だった。

男女別で見ると、「増やしたい」との回答は女性の方が男性よりも1.9ポイント高いが、「どちらかといえば増やしたい」との回答は男性の方が9.3ポイント高くなっている。増やしたいと考える人の合計は、男性が女性よりも7.4ポイント高くなっている。

同様に夫婦の就労状況別で見ると、共働きの世帯の方が、そうでない世帯よりも7.8ポイント高くなっている。

また、Q2の回答を元に、夫婦で一緒にお酒を飲む頻度別でも比較したところ、【よくある】と答えた人のうち34.6%が(さらに)「増やしたい」と答えており、【たまにある】と答えた人の14.1%を大きく上回った。

() 内は、年代・性別・普段夫婦で一緒にお酒を飲む頻度

「増やしたい」「どちらかといえば増やしたい」と答えた人の理由 n=165

『仕事が終わる時間がいつも遅いのでコミュニケーションをもっと取りたいから』(30代男性/たまにある)

『普段聞き出しが難しい話題に踏み込める』(40代男性/たまにある)

『仲が良いのは子供にも良い影響を与えるので。日々楽しい気持ちになれるので。』(40代男性/よくある)

『夫が忙しく、子どもも小さいため外食もできないので、家でゆっくりと過ごすこの時間がとても幸せだから』(20代女性/よくある)

『お互いの今が分かるし、相手が疲れている様子があれば気遣ってあげられる。普段、子供たちが聞いている中では話せないこともあるので、夫婦だけの時間は必要。』(30代女性/よくある)

「今までよい」と答えた人の理由 n=136

『今も結構な頻度で一緒に飲んでおり、夫婦での飲酒の時間はたっぷり取れているため。

現状を維持したいです。』(20代男性/よくある)

『増やすほど酒好きでもなく、かと言ってなくなるのも避けたい』(30代男性/たまにある)

『強制もないし、お互いが飲みたいと思ったときに飲むのでちょうどいい。』(30代女性/たまにある)

『夫は節酒中なので、週末に一緒に飲むくらいがちょうど良い。』(40代女性/たまにある)

「減らしたい」「どちらかといえば減らしたい」と答えた人の理由 n=12

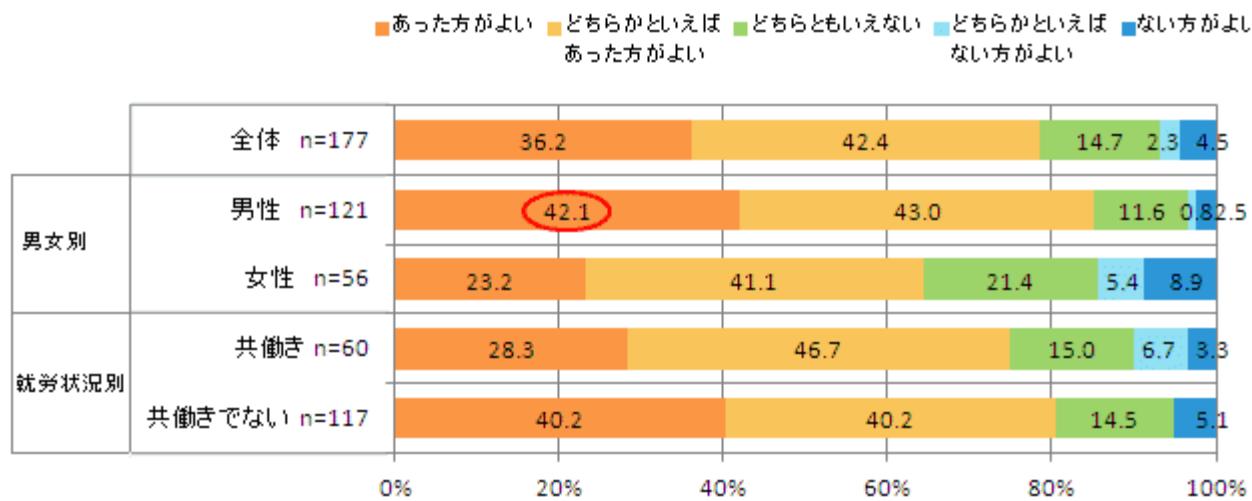
『ちょっとお酒自体を減らしたほうが健康のために良さそうなので』(40代男性/よくある)

『酒代がばかにならないし、何より二人とも太ってしまったから。』(30代女性/よくある)

夫婦で一緒に酒を飲むことがない人

Q6. 「夫婦で一緒に酒を飲む機会や時間」は、あった方がよいと思いませんか。最も近いものを選びください。(1つ選択)

Q7. 前問で、そのようにお答えになった理由をお聞かせください。(自由回答)



<夫婦で一緒に酒を飲む機会や時間>への関心度と、その理由 n=177

配偶者もお酒を飲むかどうかに関わらず、夫婦で一緒に酒を飲む機会や時間を、持ちたいと思うかどうか聞いてみると、「あった方がよい」と答える人が約8割となった(あった方がよい・どちらかといえばあった方がよい、の合計)。「どちらともいえない」は14.7%で、「ない方がよい」と答えた人は6.8%にとどまっている(ない方がよい・どちらかといえばない方がよい、の合計)。

男女別で見ると、「あった方がよい(どちらかといえば含む)」と答えた割合は女性に比べて男性の方が20ポイントも高く、女性が64.3%であるのに対し、男性は85.1%と8割を超えた。

また、Q4と同様に夫婦の就労状況別でも比較してみると、共働きではない世帯の方が「あった方がよい」と答えた人が多く、共働きの世帯に比べ、5.4ポイント高くなかった。

() 内は、年代・性別

「あった方がよい」「どちらかといえばあった方がよい」と答えた人の理由 n=139

『普段、子育てなどの理由で夫婦でお酒を飲みながら、色々な話をする機会がないため。』(20代男性)

『一緒に時間が多いために越したことはない』(30代男性)

『お互いにほろ酔いの場で話すことで、普段の会話とは違った突っ込んだ話ができると思うから。』(40代男性)

『2人で何かを楽しむ時間も必要だと思うから』(20代女性)

『普段は子供優先というか、子育てに追われていて、夫婦2人でゆっくりする機会が少ないので、そういう機会があったほうが良いのかな、とは思う。』(30代女性)

『シラフでは言えないこともあるので、お酒の力を借りて。

それと夫婦でお酒を飲む時間が楽しいので。』(40代女性)

「どちらともいえない」と答えた人の理由 n=26

『酒は潤滑油のような働きをすることもありますが、

逆の場合もあってケースバイケースだと思います。』(40代男性)

『お酒がなくてもコミュニケーションはとれるので関係ない』(40代女性)

「ない方がよい」「どちらかといえばない方がよい」と答えた人の理由 n=12

『子供がいることもあります、酔った姿はみっともない。』(40代男性)

『外食などした時に車の運転をしてもらえるので便利だから』(40代女性)

<会社概要 >

会社名: 株式会社マーシュ
代表取締役: 町田 正一
所在地: 〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-4-15 真井ビル7F
電話番号: 03-5433-0321
FAX番号: 03-5433-0481
設立: 2001年12月21日
資本金: 5,000万円
従業員数: 82名(正社員64名、アルバイト18名) *2012年4月現在
事業内容:
1. インターネットリサーチ(Web上でのアンケート調査)業務
2. モニタリクルート(座談会、会場調査の参加者募集)業務
3. アンケートモニターサイト「D STYLE WEB」の運営・管理
加盟団体: 社団法人日本マーケティングリサーチ協会(JMRA)、アジア経営者連合会
取得認証: プライバシーマーク 登録番号 12390094(04)
ホームページ <http://www.marsh-research.co.jp/>
フェイスブックページ <http://www.facebook.com/marsh.research>

<調査に関するお問い合わせについて>

弊社自主調査のデータ(数値・グラフを含む)を引用または転載いただく際は、
からず出典を明記していただきますようお願い申し上げます。
(例) マーシュ調べ

ご一報いただける場合や、その他ご質問などございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ先

株式会社マーシュ 担当 / 日高

【電話】 03-5433-0321 (平日9:30 ~ 18:30)

【メールでのお問い合わせはこちらまで】 info@marsh-research.co.jp